

新書Photo



▶葉ボタンをいただきました。公民館前が正月らしく彩られました。



4月から「公民館」が「コミュニティセンター」になります。

次号の公民館だよりから数回に渡って、「コミュニティセンターになると、どう変わるか」等、お伝えしていきますので、ご一読ください。



皆さんがお持ちの写真も、ジャンル問わず募集しています！



◀晴天の中、岡津の海岸から青葉山がきれいに撮れました。(1/20)



本年もよろしくお願い申し上げます。今年こそは行事を再開し、一人でも多くの方が参加できることを願っています。

2月の休館日

<公民館>

6日(月)・11日(土・祝)・13日(月)・19日(日・第3)・20日(月)・23日(木・祝)・27日(月)

<児童館>

4日(土)・5日(日)・11日(土・祝)・12日(日)・18日(土)・19日(日)・23日(木・祝)・25日(土)・26日(日)

<2月の行事予定>

17日(金)…区長会

917-0045 福井県小浜市加斗 30-35

加斗公民館 開館時間 8時30分～17時30分

休館日 毎週月曜日・第三日曜日・祝日

電話番号・FAX: 0770-52-5136

HP アドレス: http://www1.city.obama.fukui.jp/obm/kouminkan/kato_k/

または、検索エンジンで「加斗公民館」と検索してください。

E-mail: ph-kato@city.obama.lg.jp



加斗公民館

—毎号の公民館だよりにて、皆さんのお声を集めています。—

<地域で暮らしている中で、お困りごとはありませんか？>

ご記入いただき、切り取って各区の区長さんまで提出してください。

キリトリ

(差し支えない方は連絡先を教えてください。今後ご相談等させていただく場合があります。)ご連絡先



西の玄関から加斗のたより

ひまわり

令和 5年 1月 20日 発行

発行所 加斗公民館 415号

小浜市加斗 30-35

(電話) 52-5136

(FAX) 52-5136

世帯数 444世帯・合計 1,217人

人口 男 597人・女 620人

1月20日(金) 荒木区の「二十日講」。1本の藁から力を合わせて大きな「蛇」を練り上げ、取り付けられた「大蛇」は勇ましい姿。「大寒」とは思えない程、好天の日で、除災、安全を祈る。

謹賀新年！
幸せな一年を…



★子どもを対象とした事業を開催しました★

12月17日（土）ケーキ作り教室



コロナ禍になってから、数年ぶりに開催することができました。材料や道具は個別に用意する等、感染防止対策を工夫しました。スポンジケーキに果物やお菓子、クリームを自由に飾ってとても楽しい時間♪食べるのが楽しみになりました。

12月24日（土）マスクケース作り教室

透明のクリアファイルでマスクケースを作りました。ファイルを型に合わせて切り、組み合わせていく難しい作業でしたが、子どもたちはとても上手に進めていきました。好きなデザインの紙をはさんで、オリジナルのケースが完成しました。



12月27日（火）習字教室



冬休みの習字の課題を仕上げました。1・2年生は硬筆で、3～6年生は毛筆で、約2時間、取り組みました。講師の先生方に書き方を教えていただき、一段上の作品ができたのではないのでしょうか？

寒い冬でも元気いっぱい！いろんな体験ができました。

「福井県感染拡大警報」が1月31日（火）まで発令されています。また、県内もインフルエンザ流行期に入りました。手洗い・うがい・マスク着用を基本に、行動に気を配りましょう。



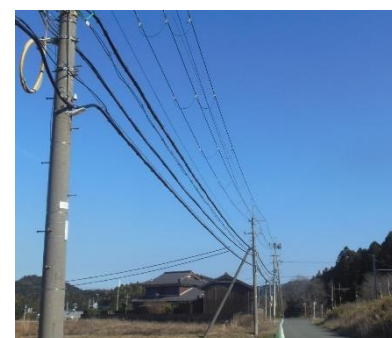
1月8日（日）はたちのつどい2023

今年から「成人式」の名称を「はたちのつどい」と改めて開催されました。対象は小浜市287名、内、加斗地区からは17名が「はたち」を迎えられました。今年是一般の方も人数限定で参列することができました。晴れ着姿で集い、親御さんたちと一緒に思い出に残る日になりました



アトラクションの様子▶

防犯灯をLEDに交換



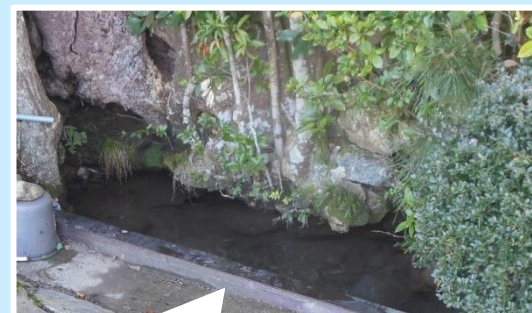
地区区長会管理下の防犯灯をLEDに交換しました。電気料金が抑えられ、長く保てます。

加斗駅前の整地した箇所を舗装



10月に樹木を伐採し、砂利を敷いた箇所を舗装しました。地面が平らにきれいになり、より安全に出入りできるようになりました。

昭和56年度 加斗小学校発行 「ふるさとの民話」より



今もきれいな水が湧いています。過去には、近所の人々が野菜を洗ったり、子どもたちが遊んだりしていたそうです。また、「蛇」がいて、怖かったとか。

ぜんじろういけ 「善次郎池」

下加斗の西尾善次郎の家の裏には、小さな池があります。

その池の周りには、100年以上もたつと思われる、たもの木や、しいの木が茂り、この池を見下ろしています。

老木に囲まれたこの池には、いつも、きれいな水が湧き出し、あふれていました。

村の人達は、この池の水を飲料水として使っていましたので、毎日、手桶をかついで、水運びをする姿が見られました。

みんなは、この池を善次郎池と、呼んでいました。

水を汲みに来た人々は、ここで、きれいな水を一口飲み、喉をうるおしては、水運びの仕事に精を出していました。